

●岐阜県羽島市のイーエスピー社の江崎義康社長から送っていただいた銀杏の挿し木苗を右の写真のようにして根付かせていただいています。

ビニールを被せて水分の蒸発を抑えて根と芽が出やすい条件を維持しています。赤玉土と鹿沼土を用意し根元にはしっかり根巻きを施すなどをして日陰で見守りをしている金田さんの作品です。生き物に対する優しい心使いが伝わります。うまく成功すれば里山農園の「シンボルの木」に育ち秋の紅葉の時期を豊かにして頂けるでしょう。こんな数え歌があります。



桃栗三年柿八年 柚子の大馬鹿十八年 梅は酸い酸い十三年 枇杷は9年でなりかねる
芳川禮子さんが里山農園に植えていただいた柿の木は高さが3m近くになり、実を付け始めて4年になりました。タラノキが沢山ありました除草作業のためにほとんど切り倒されました。わずかに丸山の麓に3本が生き残っています。

●降雨の少ない冬が過ぎ、東大寺のお水取やお彼岸も過ぎ、比良の八講荒れじまいも過ぎました。

桜の満開のニュースで早くも4月になりました。里山の会が保全を行っている場所でも山からの水が昨年到现在に続いて少なく、ヤマトサンショウウオの卵嚢は1月・2月には発見できませんでした。3月7日に1対見つけましたが、3月10日には消えてしまいました。3月30日の夕方に中沢君によって2対発見されました。翌日さらに点検してみると、もう1ヶ所で卵嚢が見つかりました。見事に孵化してほしいものです。京田辺市では恐竜時代の生き物が命を繋いでくれているのです。京都府では「絶滅のおそれのある野生生物」に指定されています(25種)。里山の会は2007年に卵嚢(卵)を発見し観察調査と細やかな保全活動を行ってきましたので、今年の雨の少なさが心配でした。3月29日に卵嚢が産み付けられてよかった!!と胸をなでおろしました。1対の卵嚢からは120匹ほどが孵化いたしますが成虫に成長できるものは数匹で、共食いもされるといわれています。山城地域では2ヶ所で生育が確認されているとお聞きしています。



●2025年度の事業の最後のイベントは炭焼き体験でした。

人間が他の生き物と違うのは「火」を使って煮炊きすることであるといわれ、木炭などの利用が長年されてきました。そして牛馬や水流などの自然エネルギーから化石燃料などを使う時代に変化発展して、ひと昔前の伝統技術は忘れ去られつつあり、自然素材は放棄されています。里山の会は数十年前の薪炭生産の炭焼き体験の伝統技術を学ぼうとして毎年実行しています。



これまで炭焼き窯に各種の雑多の樹木を収集して実行してきましたが、去年はクヌギやコナラの原木を利用すると比較的良質の木炭を造り出せましたので、今年(2025年度)も原木をコナラとクヌギを中心にカシなども加えて焼きました。窯の焚口や排煙の温度を計測し、排煙の色に注目して空気調整にも気を使い、経験から得た知恵を活かした結果5kgの段ボール箱44個(220kg)の生

産が出来ました。これまでは炭化していない爪と言われる部分がかなり残っていました。今回はこの部分が少なく、これまでにない良い炭が出来上りました。

山城地域の原木で作上げた木炭を大いに役立てて頂ければ大変うれしいです。大いにご紹介をお願いいたします。ご使用いただく場合は、事務所へのメール (fddb257@yahoo.co.jp) や FAX(0774-64-4183) での連絡をお願いいたします。

●第31回通常総会第3回理事会が3月28日(土)13:00から里山の会事務所で理事6/11名の出席で開催されました。

2025年度の活動報告や決算報告が第31回総会報告に基づいて報告され、年間56回のイベントが開催されて1094名と、定例活動の農園作業572名・事務局会議330名の参加があったこと、そして収入は前年同様であり、2025年度の会費未納者は36名(昨年45名)になりました。そして理事各位は80歳前後となっていること。こうした状況から2026年度の活動方針は11月14日(土)の結成30周年をきっかけにして「イベント開催」は無理のない方向を確認し、例年通りの日程案でまとめられました。

●第16回目の親子花見乗船体験を4月4日(土)10:00から開催します。

もうすぐ馬坂川堤の100本近くのさくらが満開になります。藤田カヌーさんからご厚意で必要なカヌー艇やライフジャケットの借用を得て、里山の会の理事諸氏を中心に社員のボランティアの皆さんと普段は水に親しむ機会が少ない子ども達に、そして保護者との共同作業を行う船からの花見のチャンスです。事前の申し込みは80人を超えました。わずかな時間ですが貴重な体験を楽しんでいただければとみんな頑張ろうと張り切っています。3月29日(日)10:00から会場の馬坂川河口のゴミ拾いを行いました。今回はこれまでなかったプロパンガスのボンベを拾い上げました。また自転車が川に捨てられていました。拾い集めたゴミ袋は8袋になりました。京都府が大きな砂州の土砂を取り除いてくれましたので植物などのゴミは少なかったのですが、「鶉」の死骸が拾われました。鳥インフルなどが心配されましたので保健所の指導を受けて処理をしました。



●春の野草を食する会を4月18日(土)10:00~12:30分頃まで開催いたします。

会場は里山農園の教育棟です。きっと面白い取組になるのではないのでしょうか。多くの皆さんのご参加をお待ちしています。この取り組みを年間行事として計画し、川の恵みを活かした楽しい川の新しい魅力を見つけられるイベントに育てられたらと思います。買って食べるのではなく、見つけて、そして育てて食べられる知恵を得られれば一挙両得になるでしょう。こぞってお越しください。お待ちしております。去年はヨモギ セリ カラスノエンドウ スイバ タカノツメ タラノメ イタドリ レンゲ ヨモギ ツクシ等が料理されました。今年はどのようなものになるのでしょうか。楽しみです。

